

痩せ型患者に対する Practical AUC-guided TDM for vancomycin を

用いたバンコマイシン投与における注意点

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

バンコマイシンは薬剤耐性菌に対して頻用される抗菌薬ですが、有効かつ安全な血中濃度を維持するために血中濃度の測定が必要な薬物となっています。近年では、血中濃度の推移を予測するシミュレーションソフト（Practical AUC-guided TDM for vancomycin）を用いて、バンコマイシンの血中濃度の値から AUC*（血中濃度時間曲線下面積）の値を計算して、治療を行う際の安全性をより高める取り組みが進められており、目標とする AUC の値の範囲もガイドラインに示されています。

痩せ型の患者さんにおいても、上記のシミュレーションソフトを用いてバンコマイシンの投与量を決定することが推奨されていますが、通常の体格の患者さんと比較して、シミュレーションソフトの精度に関する情報は限られている状態です（どのような条件がそろった時にシミュレーションソフトの予測が外れやすくなるかの情報が少ない）。

本研究では、痩せ型の患者さんに対して上記シミュレーションソフトを用いてバンコマイシンの投与量を決定する際に、どのような条件がそろった時にシミュレーションソフトの予測が外れやすくなるかを調査することを目的としました。本研究により、予測精度に影響を与える原因が明らかになれば、より有効かつ安全な薬物治療が可能になると考えます。

※AUC：お薬が体内で、どのくらいの濃度で、どのくらいの時間、作用を発揮したのかを示す指標

【対象】

当院において 2023 年 4 月～2024 年 3 月の間にバンコマイシンの投与が開始され、シミュレーションソフトである Practical AUC-guided TDM for vancomycin を用いて初期投与設計や血中濃度モニタリングが実施された痩せ型の患者さん

【情報の利用目的及び利用方法】

シミュレーションソフトを用いて初期投与設計や血中濃度モニタリングを行った際に、どのような条件がそろった際に予測が外れやすくなるかを調査するため、カルテ情報の

調査を行い統計学的な解析を行います。

【調査項目】

患者背景（性別、年齢、体重、基礎疾患、合併症）、投与量、投与期間、バイタル、臨床検査値（WBC、PLT、BT、AST、ALT、ALB、UN、Scr、eGFR、CRP、VCM トラフ値、VCM AUC 値）、副作用の発現状況、併用薬

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

2023 年 4 月～2024 年 3 月

【利用する者の範囲】

薬剤部 川端俊介

【試料・情報の管理について責任を有する者】

薬剤部 川端俊介

【研究期間】

実施許可日から 2025 年 6 月 30 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究責任者】

川端 俊介

関西労災病院 薬剤部

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail : kawahata-shunsuke@kansaih.johas.go.jp